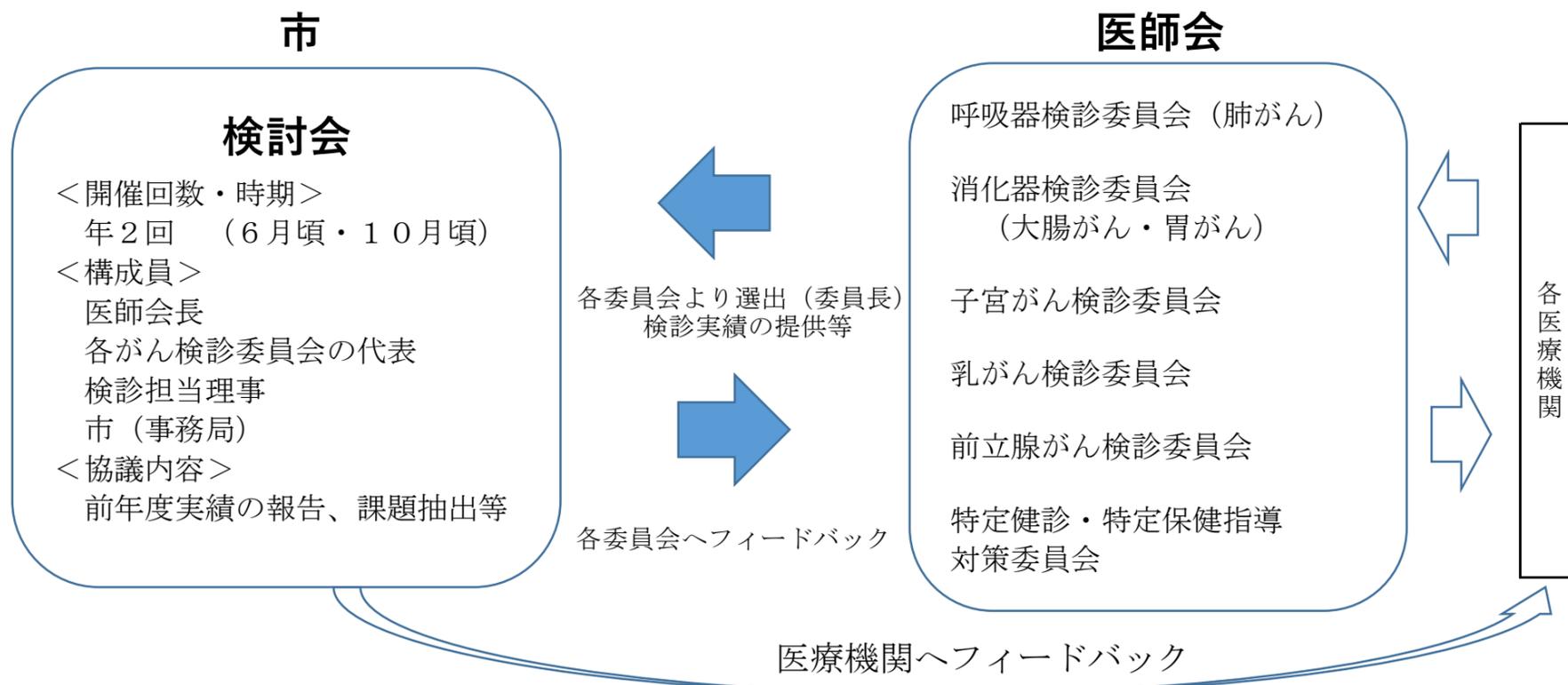


各種がん検診及び特定健康診査事業推進検討会 概要

【目的】

がん検診及び特定健診の精度の向上やがん検診のあり方について検討する場として、医師等を構成員とする検討会を市独自に設置。定期的に行われ、検診の精度向上と医師会と市の連携強化を図る。



【協議内容】

1. 各種がん検診の受診率向上

・受診券発送スケジュールの変更(令和2年度)

胃がん・子宮頸がん・乳がん検診について、受診券発送開始を4月末から3月末に変更することにより受診期間を広げ、受診率向上を図った。

2. 各種がん検診の精度管理

・精密検査結果の医療機関へのフィードバック(令和元年度)

各種がん検診協力医療機関へ、自施設におけるプロセス指標(要精検率・精検受診率等)の提供を開始し、実施状況把握への活用を促した。併せて、医療機関が把握している受診者の精密検査受診状況を市へ情報提供する依頼を開始した。

3. 特定健診・特定保健指導の効果的な実施

・AIを活用した受診勧奨及び受診勧奨案内の作成(令和元年度)

AIによる健診結果とレセプト情報の分析に基づき、対象者の特性に合わせた内容の通知により受診勧奨を行った。また、分析において多数いることが分かっている医療機関通院歴ありかつ健診未受診である方に対し、医師から配布する勧奨案内を医師会特定健診・特定保健指導対策委員長と協議し作成・配布し、受診率向上を図った。

4. 各種がん検診・特定健康診査の個別課題への対応

・胃がん検診登録制廃止の検討(令和3年度)

希望者のみへ受診券を送付する登録制をとっている胃がん検診について、登録制廃止を検討する材料とするため、地区ごとの胃内視鏡検査のキャパシティ及び受診者数予測を報告した。